

# 住まいのとも通信



Vol. 100  
2023年10月

## 秋カビ対策をしましょう

カビと言えば梅雨の時期を想像しますが、実は暑い時期から気温が下がる秋も、カビの繁殖が気になる時期と言われています。カビにとって最適な温度は20～30℃、湿度は70%程度。秋の気候は不安定で、意外と湿度が高い時期でもあるので注意が必要です。今回のテーマは『秋のカビ対策』です。

## 室内をきれいに保ちカビを防ごう



### 基本的な対策

カビの栄養となる埃や食べこぼし、水まわりの水アカを取り除きましょう。普段の掃除+埃がたまりやすいサッシまわりも。また、こまめに換気をし風を通すことも大切です。浴室の換気扇はすぐに止めず、室内をしっかりと乾かしましょう。

### 浴室の対策

浴室内の水滴をこまめに拭き取り、掃除をし、カビがあれば除去を。シャンプーボトルなどの底もヌメリなどを取り除きましょう。落ちにくい黒カビは、塩素系洗剤が◎普段のお手入れは中性洗剤で十分です。カビ対策として、乳酸の力やお酢の力でカビをやっつけてくれる洗剤もおすすめです。掃除後は、防カビ効果が期待できるくん煙剤を使うのも良いですね。

## エアコンや衣類のカビ対策もお忘れなく！

### エアコンの対策

フィルター掃除は、ほこりを掃除機や古い歯ブラシなどを使って取り除きます。さらに汚れが気になったら、中性洗剤をぬるま湯に溶かしてしばらくつけ置きして、水洗いをし、しっかりと乾かしましょう。吹き出し口などをドライシートで拭き、可能ならプロに頼んで内部の掃除もしてもらい、暖房を使う時期に備えましょう。ちなみにエアコンを使用し、電源を切るときは、30分～1時間程度送風運転をすることで、内部の湿気を乾燥させることができるそうです。

### 衣類の対策

しばらく着ない夏物の衣類は、液体洗剤よりも洗浄力の高い粉末洗剤や、酸素系漂白剤などを使って汚れをしっかりと落としてから収納すると◎クリーニングから戻ってきた衣類は、ビニールカバーが付いたままクローゼットに収納すると湿気がこもりやすくなり、カビの一因に。クリーニング後はカバーを外し、しばらく室内干してからクローゼットへ。一方で最近は、片面に不織布が使われたカバーも見られます。不織布は通気性があるので、カバーをしたままクローゼットに収納してもOK。クローゼットや押入れに除湿剤を使うこともおすすめ。ヒノキ等のウッドチップは、防カビや除湿の手助けをしてくれるそう。香りも良いので使ってみるのも良いですね。

